

総合単元名	あきらめずに がんばろう	6月～7月 全8時間
-------	--------------	------------

めざす子ども	自分のことを最後までやりきる子	中心項目 1－(2) 関連項目 1－(1)
ねらい	自分でやらなければならないことは、最後までやりきろうとする態度を育てる。	

単元設定の理由
 児童は、学校生活にも慣れはじめ、自分に分担された仕事内容や、学習の面でもやらなければならないことが分かるようになってきた。しかし、それらを適当に済ませたり、自分のことを後回しにして友達の面倒をみたりするなど、自分のやるべきことをやり切ることができない児童がいる。そこで、自分のやるべきことに対して最後まで一生懸命にやりぬこうとする態度を育てたいと考え、本単元を設定した。

時期	教科・特別活動	道徳の時間	常時活動 家庭との連携	子どもの意識の深まり
6月	<p>②生活科 6月(2時間) 「げんきにそだってね」 あさがおや野菜の世話を継続して行うことができる。</p>	<p>①<節度・節制, 自立> 1－(1) 6月(1時間) 「バムのおかたづけ」 部屋が片付いたときのバムの気持ちを考えることを通して、身の回りを整えることの大切さに気付き、自分でできることは自分でしようとする心情を育てる。</p>	<p>(♥業間遊び) わがママを言わずルールを守って楽しく活動することができる。</p>	<p>♥みんながわがママを言ったら、おもしろくないよ。ルールを守って遊ぼうね。</p> <p>①部屋が片付いたら気持ちがいいな。ちゃんと自分でできるようになりたいな。</p> <p>◆きれいな花が咲くといいな。ちゃんと毎日、水をやろう。</p>
7月	<p>④生活科 7月(2時間) 「はながさいたよ」 自分が世話をしてきたあさがおの花が咲いた喜びを感じ、今後も継続して世話をすることができる。</p>	<p>③<勤勉・努力> 1－(2) 6月(1時間) 「はたらけせっせ」 冬になったときのありたちの気持ちを考えることを通して、楽をせずに頑張ることの大切さに気付き、自分がやらなければならないことはしっかりやろうとする心情を育てる。</p>	<p>(◆一人一鉢) あさがおの世話を毎日行うことができる。</p>	<p>②毎日忘れずに水やりをしていたら、少しずつ大きくなってきたよ。続けてきてよかったな。</p> <p>③楽をすると、大変なことになるんだな。しんどくても逃げずに頑張ることが自分のためになるのだな。</p>
	<p>⑥学級活動 7月(1時間) 「1学期を振り返って」 1学期の学習や生活を振り返り、これからも頑張ろうという気持ちをもつことができる。</p>	<p>⑤<勤勉・努力> 1－(2) 7月(1時間) 「がんばれ ホイツ」 なかなか宿題ができない勝也の気持ちを考えることを通して、最後までやり遂げることのよさに気付き、自分がしなければいけないことをやりきろうとする態度を育てる。</p>	<p>(★係・当番活動) 自分の係の仕事を、一生懸命にやりきることができる。</p>	<p>④世話をしてきたあさがおの花が咲いたよ。毎日お世話を頑張ってきてよかったな。これからも続けよう。</p> <p>★係の仕事も頑張って続けよう。</p> <p>⑤あきらめずに頑張ったらいいな気持ちだな。これからは最後まで頑張るようにしよう。</p> <p>⑥なかなか上手に回れないけれど友達が親切に教えてくれた。私も友達が困っていたら助けるようにしよう。</p> <p>■ほめてもらえてうれしいし、あきらめずに頑張ったら気持ちがいいな。夏休みになっても、進んで頑張ろう。</p>
<p>自分のことを最後までやりきる子</p>				

「道徳の時間」学習指導案

指導者 前田 佳保里

- 1 日時 平成23年9月30日(金) 第5校時
- 2 学年 第3学年 男子11名 女子11名 計22名
- 3 主題名 わかりあえる友 中心項目 2-(3) 〈友情・信頼, 助け合い〉
関連項目 2-(2) 〈思いやり, 親切〉
- 4 ねらい 中山くんからもらった貝がらをながめたりにぎったりしているぼくの気持ちを考えることを通して, 友達と心が通じ合うことの喜びに気づき, 友達をよく理解し, 認め合い, 励まし合おうとする心情を育てる。
- 5 資料名 貝がら (出典:「みんなのどうとく3年」 学研)

6 主題設定の理由

- 人間は社会において, 人と人のかかわり合いの中で生活している。この生活の中で, 人々は互いに相手を理解し, 誠実に接することで信頼関係をつくりあげていく。こうして得られた信頼し合える友達は, 自分が困ったとき支えになってくれるものである。友達との関わりから学ぶことは多く, 自己を高めるためにも友達の存在は大切である。そこで特に, 友達のよいところを進んで見つけ, 互いに認め合い, 励まし合う態度が大切である。

この時期の児童は, 気の合う友達同士で仲間をつくる傾向にある。しかしその仲間関係は小さなことで変化し, メンバーが入れ替わる。そこでは自分たちの世界を確保して楽しもうとし, 他の友達を受け入れないといった排他的な態度も見受けられる。そこで, 友達を表面的なもので見ず, より深く理解し, 互いのよさを見つめ, 助け合おうとする態度を育てたいと考え, 本主題を設定した。

- 本学級の児童は今年度クラス替えを行った。そのため児童の約半数は, はじめて同じクラスになった友達がいる。児童たちは週2回の学級レクリエーションを楽しみにしており, その日は全員が誘い合って一斉に遊んでいる。事前アンケートでは「困っていたときに, 助けてもらったことがありますか。」の問いには「保健室に連れて行ってくれた。」「こけたときに助けてくれた。」「勉強を教えてくれた。」等, 82%の児童がよい関わりを体験している。昨年度まで互いに顔と名前を知っている程度であった間がら同士でも, 仲良くなり, 助け合っている様子が見られる。しかし, 新しく友達ができた反面, この時期までそれぞれがあまりかかわることなくきた相手もあり, 互いのことをよく知らないままである。このことは「自分から進んで声をかけて, 仲良くなったことがありますか。」の問いには77%と若干低かったことからうかがえる。また, 「相手のことを知らなかったが, 何かをきっかけに親しくなったことがありますか。」の問いでも59%と低く, 新しく同じクラスになった者同士のかかわり合いが少ない様子が見られる。そして「今まで気がつかなかった友達のよい所を見つけたことはありますか。」の問いに, 肯定的な答えは68%であることから, 友達を深く理解し, よさを見つめようとする態度が不十分であることがわかる。

児童の中には, 自分たちの都合でかかわりあう相手を限定して他の者を寄せつけなかったり, 話し合いの場で取り決めをする場合に自己中心的になったりする傾向を持つ者がいる。

- 本資料は, 転校してきた中山くんが地方なまりを気にするあまりクラスになじめない寂しい気持ちと, その気持ちに気づいていく主人公「ぼく」の心の変容が描かれている。友達関係を結ぶには相互の歩み寄りが必要である。中山くんは, 病気で欠席した「ぼく」の家へお見舞いに「貝がら」の入った箱を届け, 「ぼく」はその行為に感動する。人と人とがつながっていく喜びが感じられること, そして人と人とがつながっていくためにはどうすればよいのかを考えさせられる資料である。

導入では, 事前にとった「転入生と仲良くなるためには」のアンケートの結果を発表する。それにより新しく友達を作るためには, どんなかかわりが必要なのかということを意識づけておく。

展開前段では, 「ぼく」の気持ちになり, 中山くんとの関わりの中で変化していく「ぼく」の気持ちを捉えさせたい。また, 中山くんも友達になろうと努力している点をおさえたい。中心発問では, 貝がらを持ってきてくれた中山くんのおもいやりのある行動から, 中山くんの思いを感

じ取っていくぼくの気持ちを考えさせる。そして、今度こそ仲良しになれると思ったぼくの気持ちに共感させたい。

展開後段では、友達とより一層仲良くなれた体験を出し合うことで、友達と分かり合い、より深くつながっていききたいという心情を高めていきたい。

終末では、友達の作文を聞くことで、進んで友達に声をかけ、友達と良い関係を作りたいと思う心情を高めたい。また、これまでの活動や体験をふりかえらせ、友達の新たな一面を見つけたり、協力し合ってきた写真を見ながら、心が通じ合うことの大切さや喜びを感じ取らせたい。

学習後には、友達のことを考えて行動したり助け合ったりしている児童を、帰りの会の“今日のキラリ”で紹介、賞賛し、自らも友達のために行動していこうとする姿につなげていきたい。

「伝え合う」については、自分の意見と友だちの意見をくらべ、その違いやよさを感じ取り、認め合っていく段階である。

本時は、ワークシートに、ぼくの中山君への気持ちを書かせてこれを発表させ合い、様々な表現や意見を聞き合って価値を深めさせる。

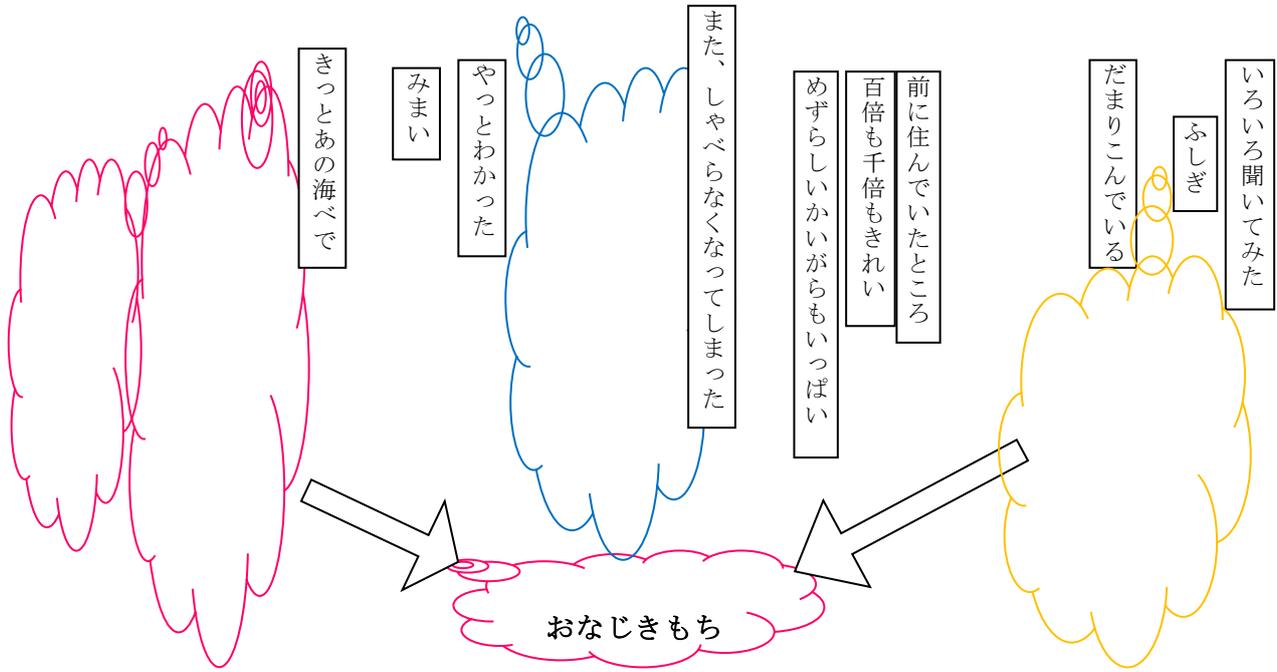
7 準備物 場面絵，ワークシート

8 学習過程

	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	支援(○)評価(★)改善点(◎)
導入 展開	1友達づくりについて考える。 2資料「貝がら」について話し合う。	○友達をつくるコツって何だと思いますか？ ○ぼくは、何も話してくれない中山くんのことを、どんなふうに思っているのでしょうか。 ・どうして話をしないのだろう。 ・せっかく話しかけているのに。 ・ぼくの事がいやなのかな。 ○また中山くんがしゃべらなくなった時、ぼくはどんなことを思っていたのでしょうか。 ・せっかく中山くんが話したのに。 ・中山くんが話さないわけがわかった。 ・中山くんのことを笑う女子はひどいな。	○ぼくの心情に迫りやすくする。 ○「クスクス」笑う女子と、積極的に感想を伝えるぼくとを対比させる。
	3 中山くんからもらった貝がらをながめたり、にぎったりしているときのぼくの気持ちを考える。	◎ぼくは、中山くんからもらった貝がらをながめたり、にぎったりしながら、どんなことを考えていたのでしょうか。 ・きれいな貝がらだなあ。 ・わざわざお見舞いに来てくれるなんて、ありがとう。 ・いいところがあるなあ。 ・僕が見たいと言った海の貝がらだ。元気づけようとしてくれたんだな。うれしい。 ・中山君は僕と仲良くなりたいと思っているかも。 [補助発問] ●中山君はどんな気持ちでぼくに貝がらを持ってきてくれたのでしょうか。 ・だいじょうぶかなあ。 ・ぼくと友達になりたい。 ○ぼくは、どうして今度こそ中山くんとなかよしになれると思ったのでしょうか。 ・貝殻を持って来てくれたから（うれしい）。 ・中山君のいいところを見つけて、もっと好きになったから。 ・中山くんは、ぼくと友達になりたいという思いで大切な貝殻を持って来てくれた。そんな中山くんの気持ちが分かったから。 ・ぼくも中山くんも同じ気持ちだと思ったから。	◎ワークシートに、僕の中山君への気持ちを書かせる。 ★友達と心が通じ合う大切さに気づいているか。
	4 自分の生活をふりかえる。	○みなさんは友達と前よりももっと仲良くなったことはありますか。 ・親切にしてくれたときうれしくなって。 ・一緒にいると楽しいなと思ったとき。 ・いいところを見つけて、話しかけたらよくしゃべってくれたとき（うれしい）。	○中山くんのやさしさと中山くんがぼくを大切に思う気持ちを理解し、今度こそ仲良しになるうとするぼくの気持ちに共感させる。 ○これまでの活動や体験をふりかえりながら、心が通じ合う大切さについて考える。
終末	5 友達の詩を聞く。 6 ふりかえる		

9 板書計画

今度こそ中山	ながめたりに	なんだかどき	お見舞いの貝がらを見つめるぼく	きれいなかい	病気で休んだ	中山くんを笑う女子	クスクス	絵を書く中山くん	なにも話して	てん校してき	転校してきた、中山くん
--------	--------	--------	-----------------	--------	--------	-----------	------	----------	--------	--------	-------------



10 ワークシート

かいがら 名前

ぼくは、中山くんからもらった貝がらをながめたり、にぎったりしながら、どんなことを考えていたのでしょうか

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

